

【厚生労働省委託事業】
男性の育児休業取得促進セミナー開催のお願い（2023）

To Be a Good Company



東京海上ディール株式会社

1. 男性の育児休業取得促進事業 若者向けセミナーの開催概要

勤労者世帯の過半数が共働きとなっている中、男性の育児促進は、配偶者である女性の継続就労や出産意欲への影響という点でも大変重要であり、男性も仕事と育児を両立できる環境づくりが求められています。

また、男性の育児休業取得率の数値目標が2025年までに50%と掲げられた一方で、男性の育児休業取得率は13.97%（2021年度）にとどまっています。

そのため本セミナーは、学生や結婚前の社会人等、子を持つ前の若い世代を対象として、育児休業の基礎知識や男性が育児休業を取得するメリット等について知っていただき、将来の育児参画や育児休業取得に対する意識向上を目的としています。

項目	概要
タイトル	教えて！イクメンの星 育児休業の取り方・過ごし方
テーマ	若年層のイクメン・育児休業取得に対する意識向上
概要	今後育児を担う可能性のある若年層の男性に、「育休の取得は難しくない」「育休を取得したい」と思ってもらえるよう、男性の育児休業制度や、男性が育休を取得することのメリット、育児休業を取得するための心構え等を、実際の育休取得事例を交えて紹介する。
時間	1時間半程度
主な対象	学生、若手社会人
開催時期	8月以降の開催を想定※1
募集人数	100名程度
開催形式	WEBセミナー※2
開催方法	大学の授業やゼミ、イベント（就職セミナー等）の1コマをいただき、弊社から講師を派遣する。

※1：貴学ですすでにご予定の時期があれば、上記開催時期以外での開催も検討させていただきます。

※2：WEB形式での開催を予定していますが、ご要望があれば現地集合型形式での開催も検討させていただきます。

2. セミナーの構成・内容

■ セミナー構成・内容

セミナー構成：下表を構成案としてご提案いたしますが、貴学先生の講義やグループワークを入れていただく等、ご希望に応じて調整いたします。また、所要時間もご要望に応じて調整可能です。



時間割	項目	概要
2分 (~0:02)	冒頭挨拶、講師自己紹介	講師は、社会保険労務士や、本事業の弊社担当者を予定。
5分 (~0:07)	貴学先生等から本セミナーの趣旨説明等	貴学先生等から、本セミナーを開催する趣旨、学生に理解してもらいたいこと、考えてもらいたいことなどをご説明いただく。
30分 (~0:37)	研修用資料の解説	男性の育児休業取得の現状、法改正に伴う新制度を含む育児休業制度の概要、男性が育児休業を取得する際のポイントやメリットを解説し、仕事と家庭の両立が必要であり、育児休業の取得が望ましいことについて理解を深められるようにする。
30分 (~1:07)	ゲスト講演	イクメンの星(男性の育休取得経験者)や男性の育児休業取得促進に積極的な地元企業等をお招きし、育休体験談や企業での取組について講演いただく。
23分 (~1:30)	対談・質疑応答~まとめ	貴学先生とイクメンの星の対談、学生からイクメンの星へ質問いただくなど。最後に、先生にまとめていただき、終了。
	アンケート回答	WEBアンケートに回答いただく。

■ 過年度事業での実績

北海道大学、新潟県立看護大学、埼玉大学、法政大学、慶応義塾大学、東海大学、静岡県立大学、大阪教育大学、高知大学、九州大学、琉球大学、岐阜県、京都市、福岡市（岐阜県、京都市、福岡市は自治体との共催セミナー）にて実施いたしました。

3. セミナー開催のご提案

《 ご提案・ご相談 》

- ① **先生の授業やゼミにおいて学生を対象に講演が可能な場合**
→当該授業・ゼミに講師を派遣し、セミナーを開催する。
- ② **貴学にて就職・男女共同参画等に関するイベントの開催を検討されている場合**
→当該イベントの中で1コマお時間をいただき、弊社から講師を派遣して、セミナーを開催する。
- ③ **先生のご担当の範囲でセミナー開催が困難な場合**
→貴学内、または先生のお知り合いにおいてセミナー開催をご検討いただける部署、先生がいらっしゃいましたら、ご紹介いただけますと幸いです。

上記①、②のご提案はセミナー開催方法の一例です。

上記の案以外でも開催可能な形式があれば、ご相談させていただければと考えております。
ご検討のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

MEMO



TOKIO MARINE

【お問い合わせ先】

厚生労働省委託事業

令和5年度男性の育児休業取得促進事業 事務局

TEL:03-5288-6583

Email: ikumen@tokio-dr.co.jp

【厚生労働省委託事業受託事業者】

東京海上ディーアール株式会社

製品安全・環境本部

To Be a Good Company

東京海上ディーアール株式会社